

令和8年度 夏の企画展／「昭和100年」関連企画展示

傷ついた身体で つかんだ仕事

— 戦傷病者 就労への道 —

令和
8年
(2026) **6.2** 火 ▶ **8.30** 日

入場無料

開館時間 ▶ 10時～17時30分(入館は17時まで)

会 場 ▶ 2階 企画展示室

休 館 日 ▶ 毎週月曜日・7月21日(火)※7月20日(月)は開館

※会期等を変更する場合があります。最新の情報は当館ホームページをご確認下さい。

協 力 ▶ 平塚金属工業株式会社、平塚市博物館



SHOKEI-KAN

しょうけい館

戦傷病者史料館

Historical Materials Hall for the Wounded and Sick Retired Soldiers, etc.

令和8年度 夏の企画展／「昭和100年」関連企画展示

傷ついた身体でつかんだ仕事

— 戦傷病者 就労への道 —

かつて昭和の時代、先の大戦で負傷した兵士たちは身体に不自由を抱えながらも、自身のため、家族のため、再び社会へと戻って行かなければなりません。彼らにとって働くことの意味は、単に生計を得るための手段には留まりません。それは社会の一員としての居場所を再び獲得し、自らの尊厳を取り戻すための戦いでもありました。

障がい者雇用の制度やそれを支える技術が今ほど整っていない時代、身体の自由を失った者にとって、自ら生活の糧を得ることは容易ではありませんでした。しかし彼らは、自らの傷病の状況に適した仕事に就くため、専門の職業訓練を受けたり、義肢に特別な工夫を施したり、そして血のにじむような努力を重ねたりすることで、自らの仕事をつかみ、築き上げてきました。

本展では、彼らの仕事を支えてきた義肢や道具を展示するとともに、当時の職業訓練や制度について解説し、働くことを通して再起を目指した戦傷病者たちの半生について紹介します。



農作業で活躍した作業用義手



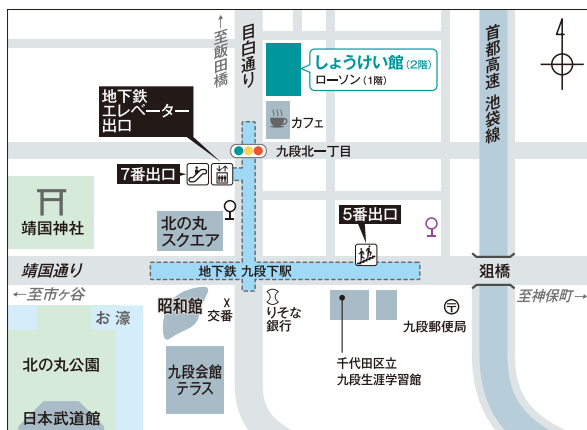
商社勤めでの歩みを支えた義足



職業訓練で製作した茶筆筒



洋服仕立て専用の義手



地下鉄をご利用の場合

- ・九段下駅「東京メトロ(東西線・半蔵門線)」「都営地下鉄(新宿線)」7番出口より徒歩3分、5番出口より徒歩5分

バスを利用の場合

- ♀ 都営バス「九段下(飯64系統)」より徒歩4分
 - ♀ 千代田区コミュニティバス「千代田保健所(九段下駅)」より徒歩5分
- ※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

当館は、戦傷病者とそのご家族が戦中・戦後に体験したさまざまな労苦についての証言・歴史的資料・書籍・情報を収集、保存、展示し、次世代の人々にその労苦を知る機会を提供する国立の施設として、平成18年に開館し、令和5年に移転しました。

